治水とまちづくりを考えるシンポジウム

in 武雄

とき 令和5年 1月29日（日）
10時～12時30分〔9時30分開場〕

ところ 武雄市文化会館 小ホール
武雄市武雄町大字武雄5538番地1

入場無料 定員：400

事前申込 不要

第1部 / 基調講演 これから私たちは、洪水と「どうつき合って行く」か？

10時～10時50分

（講師からのメッセージ）

長年にわたる河川改修や治水施設の整備によって水害への備えが格段に充実してきています。しかし、それだけでは、まちがこの先ずっと発展していくために必要な安全はつくれません。これからは、治水整備だけでなく、まちと洪水との「つき合い方」を進化させ、流域全体で治水を進めていく必要があります。それはなぜか？を、治水整備の威力と限界、まちと洪水とのかかわり方の歴史的な流れ、気候変動がもたらすことなどを踏まえて、お話しします。そして、希望的観測でなく実態を正面から見て、だからこそ希望をもって、まちを良くしていくことの大切さ、そのためにどういうことが大事になるかについて、私なりの考えをお話しします。



講　師：藤田光一　氏（国立研究開発法人土木研究所理事長）

第2部 / パネルディスカッション 水と共に生きるまちづくり

11時～12時30分

- パネリスト：塚原健一 氏（九州大学工学研究院附属アジア防災研究センター長）
  大串浩一郎 氏（佐賀大学理工学部教授）
  小松　政（武雄市長）
- コーディネーター：五十嵐勉 氏（佐賀大学全学教育機構教授）
- オブザーバー：阿部成二 氏（国土交通省武雄河川事務所長）
  天本貴子 氏（佐賀県県土整備部まちづくり課長）



【主　　催】 武雄市
【問合せ先】 武雄市 企画部 治水対策課　　TEL（0954）27-7097　chisui@city.takeo.lg.jp